



# 空海と土木

元高野山大学学長 高野山大学名誉教授

## 高木 伸元 氏

TAKAGI Shingen

...

—わが国の灌漑治水の土木遺構を辿ると、仏教者との深い関わりが見えてきます。それは一体なぜなのでしょう？

**高木**—架橋、池溝の穿鑿、道路の改修といった土木工事によって、わが国の社会事業の端緒を拓いた7世紀の僧道昭は道登とともに宇治橋の造営にも関わりをもったと言われます。

その道昭の弟子であった行基が、出家者を統制する僧尼令にあえて違背してまでも、灌漑治水、井泉の穿孔、路づくり、港湾の築造などの社会事業によって民衆の救済に力を尽くしたこともよく知られています。

行基と同じように民衆から菩薩として慕われた弘法大師空海による讃岐満濃池の修築は、水圧によく耐えうるアーチ式ダムであったこと、柴と土を互層にした補強盛土工法などが見られて、現代に通ずる土木技術としても有名です。

空海は入唐留学時代に、世界的文化都市であった長安で仏教や密教のほかにも詩文、書道などとともに諸種の工芸、建築や土木などの技術（工巧明）、医薬知識（医方明）なども広く学ばれたのです。

帰国後の空海は真言密教を確立するとともに、広く濟世利人の福祉に意を尽しました。大和の益田池の造築にも弟子の真円を通じて技術指導に尽力しました。伝承によると大輪田の泊（神戸港）の別当（総責任者）をも務めたと言われます。

—土木事業のほか教育にも貢献されたと聞きました。これらに通じる志は？

**高木**—わが国はもとよりのこと、9世紀の中葉に世界で初の私学（綜芸種智院）を創立して一般庶民の教育に力を注ぎ、教育の機会均等を実現させ、学生に対する完全給付制を実施しています。その財源として勸学田があてられたが、公益信託あるいは財団が案出されたとも言われます。

こうした仏教者による社会福祉事業は仏の慈悲心による利他の精神の発露なのですが、とりわけ空海にあっては、菩

薩の道を修行して無上の菩提を得るためには、まずいっさいの有情を利益し安楽ならしめることが最も勝れた道なのだという密教の福祉精神によつてのことなのです。

—難渋していた工事も空海によってきわめて短期に成し遂げられたと聞きました。そのマネジメントの秘訣は？

**高木**—当時の国家経済を成した農蚕業は、まさしく治水によって支えられていました。そのために宮中では国家的規模での五穀豊穡の修法が行われ、さらには降雨、止雨等の祈禱も、灌漑の工事と同等の経済対策として、主として浄行の出家僧に依頼されたのです。

わが国の正史の1つ『日本紀略』には空海が民衆から父母のように恋慕され、聖者空海が来ると聞けば、人びとは履物をはくのももどかしく、急ぎ迎えに駆けつけたと書かれています。同じようなことは行基の場合にも見られて、行基の行くところには数千人の民衆が従ったと記されています。優れた土木技術とともに多くの人びとを動員就業せしめる慈悲の仏心こそ、最大のマネ



## インタビュアー

会誌編集委員  
松岡孝哉

ジメントと言えましょう。

——その仏教福祉の原点とは？

**高木**——民衆のなかに足を踏み入れ、苦楽を共にして民衆の福祉を願うのは、まさしく菩薩としての仏教者の真のあり様なのです。空海の剃髪の師といわれる大安寺の勤操は貧窮人のための文殊会を始め、後には国家の社会事業として継承されました。仏典によれば、文殊菩薩は貧困、孤独、種々の障害に苦悩する人として、この世に現れると言われます。だから人びとは文殊の

化身であるこれら貧窮な人びとに対して供養させていただくことで、福業を修めさせてもらうのです。これが仏教福祉の原点であって、単なる救済ではありません。

キリスト教の聖女マザーテレサが「神は貧しき人、病める人、苦しめる人として現れている」と言ったのと、文殊会の精神はまったく同じと言うことができます。

——現代の土木、社会事業への警鐘ということで、もしも空海の代弁をされるとしたら？

**高木**——空海は自然の環境と人間の心とは本来内密的に一体なるものとしてつながっているのだと言っています。だから人の心が垢汚したとき環境は汚染され破壊される。逆に自然の環境が閑静であるとき、そこに住む人びとの心は自ら朗らかとなる。人の心と自然の環境が内密的につながっていることが自覚されたとき、初めて道德すなわち人たる道が行われるようになると言っています。

この宇宙の存在はすべてつながっており、すべて生命を共にしていることを忘れて、ただ人間にとっての利便性、快適性、経済性、効率性のみを求めての開発は、人間が自然界から疎外され、遂にはエゴでのみ行動することで自ら破滅への道を歩むことになりかねません。われわれが生かすべき技術は人間の心と自然の環境が本来有するポテンシャルを啓発するものでなければなりません。そのことによって人びとは自然の豊かな恵みを享受することができるのです。

——すばらしい宇宙観を感じさせていただくことができました。どうもありがとうございました。

